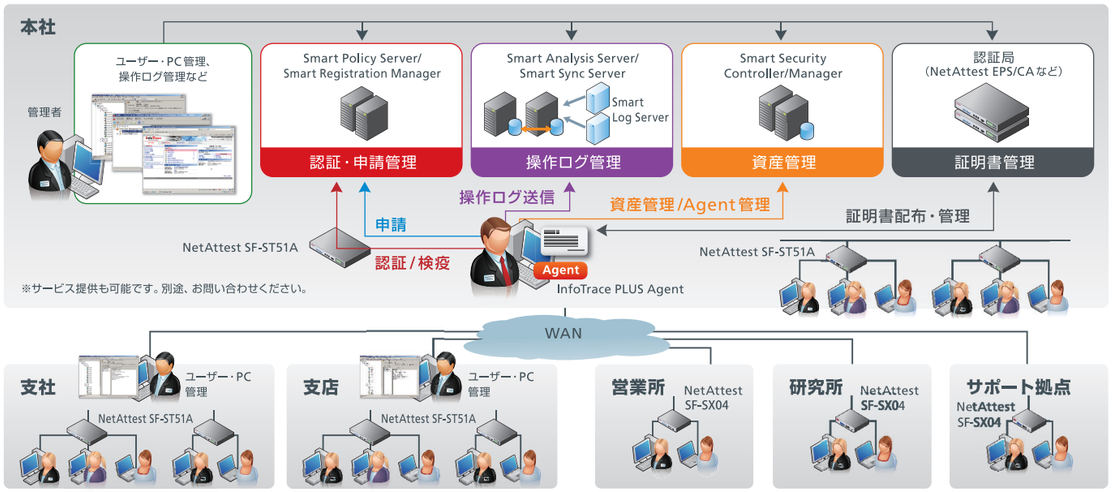
構成例（大規模構成）



システム名	機能・特長
InfoTrace PLUS Agent	PCにインストールするクライアントソフトウェアでPC操作ログ取得・資産情報取得・PC操作制御・シングルサインオンを行います。
Smart Policy Server	ユーザーのシングルサインオンやPC制御のポリシー情報を持ち、ユーザー認証を行います。
Smart Registration Manager	ユーザーからのアカウント申請（ユーザー・コンピュータ）やUSB利用の申請管理を行います。
Smart Log Server	Agentからログを受信し、Smart Analysis Server（ログ格納・分析サーバー）のデータベースにログを格納します。
Smart Analysis Server	データベースにログを保持し、ログ分析を行います。
Smart Sync Server	Smart Analysis Server（ログ格納・分析サーバー）のデータベースのログデータを他のSmart Analysis Serverに同期します。
Smart Security Controller/Manager	InfoTrace PLUS Agentの状態管理やアラート受信、Agentから収集した資産情報の管理を行います。

仕　様

● InfoTrace PLUS

InfoTrace PLUS サーバーパック	サーバー系コンポーネント	Smart Policy Server、Smart Registration Manager、Smart Log Server、Smart Analysis Server、Smart Sync Server、Smart Security Controller/Manager 対応OS：Windows Server 2003/2003R2/2008/2008R2/2012/2012R2
	管理系コンポーネント	Smart Management Console、Smart Disk Management Console、Smart Security Console 対応OS：Windows XP/Vista/7/8/8.1、Windows Server 2003/2003R2/2008/2008R2/2012/2012R2
InfoTrace PLUS クライアント	対応OS：Windows XP/Vista/7/8/8.1	
価格	InfoTrace PLUS サーバーパック	1,000,000円
	InfoTrace PLUS Agent ライセンス	～17,000円/PC
	InfoTrace PLUS トークン ライセンス	700円/トークン

※各OSのサービスパックやエディションについては、別途お問い合わせください。

● NetAttest SecurityFilter

モデル番号	SF-ST52-A	SF-SX04-A
同時接続端末数（ネットワークアクセス制御ライセンス/Web認証端末）※1	それぞれ最大1,024台	それぞれ最大256台
認証制限端末数※2	最大1,024台	最大512台
スタティックACL数（プレフィルタ※3／ゲストフィルタ※4）	それぞれ最大2,048個	それぞれ最大512個
ローカルユーザー登録数※5	最大256ユーザー	最大256ユーザー
ACL登録総数※6	最大32,000件	最大2,000件
ネットワークインタフェース	10/100/1000BASE-T(X)自動認識×6（LAN3～5未使用）	10/100/1000BASE-T(X)自動認識×4（LAN4未使用）
筐体形状	EIA19インチラックマウントタイプ	デスクトップタイプ
外形寸法（W×H×D）／重量	443×44×292（mm）/5.1Kg	190×44×144（mm）/1Kg
電源	90～264V AC、47～63Hz	90～264V AC、47～63Hz
最大消費電力／発熱量	67VA/228.6BTU/h、57.6kcal、67W	42VA/143.2BTU/h、36.1kcal、42W
動作環境	温度0～40℃、湿度10～90%（RH結露なきこと）	温度5～35℃、湿度20～90%（RH結露なきこと）
適合規格	VCCI Class A、FCC Class A、CE、UL、RoHS	VCCI Class A、FCC Class A、CE、UL、RoHS
本体価格	1,554,000円	245,000円

※1「接続端末」とはNetAttest SecurityFilterで認証済み（ログオンに成功し、未だログオフを行って いない）端末を指し、その合計が「同時接続端末数」になります。
※2「認証制限端末数」とは、NetAttest SecurityFilterに対する認証要求を許可する端末（ホワイトリスト）の件数、又は拒否する端末リスト（ブラックリスト）の件数を指します。
※3「プレフィルタ」とは、認証の成功・未認証・認証失敗に依らず適用されるアクセス制御フィルタを指します。
※4「ゲストフィルタ」とは、未認証・認証失敗状態の端末に適用されるアクセス制御フィルタを指します。
※5「ローカルユーザー」とはNetAttest SecurityFilterの内部に登録されたユーザーを指し、その登録アカウント数が「ローカルユーザー登録数」になります。
※6 最大ACL登録総数は、スタティックACL（プレフィルタ、ゲストフィルタ）、ダイナミックACL、認証制御端末などの管理者により登録されるACLと、NetAttest SecurityFilter自身が通信を行うために必要となる内部的なACLとの合計件数となります。

※記載の製品名は、各社の商標または登録商標です。

⚠ 安全に関するご注意	正しく安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ず「取扱説明書」をお読みください。

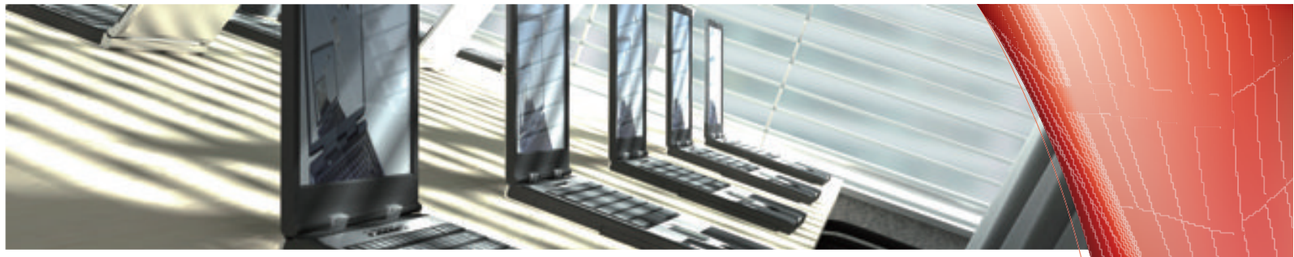
Soliton
株式会社ソリトンシステムズ　http://www.soliton.co.jp
〒160-0022　東京都新宿区新宿2-4-3
TEL 03-5360-3811　netsales@soliton.co.jp
大阪営業所 06-6821-6777　福岡営業所 092-263-0400
名古屋営業所 052-963-9700　東北営業所 022-716-0766
札幌営業所 011-242-6111

このカタログは2014年7月現在のものです。仕様、デザインは予告なく変更することがあります。　ITP-1408A

Soliton

InfoTrace® PLUS

統合PCセキュリティ管理ソフトウェア
インフォトレース プラス



認証・検疫・制御・シングルサインオン・ログ管理で人×PCを中心としたセキュリティ対策へ

- 「認証」正規の利用者・PCを特定する
- 「検疫」最新のパッチ・バージョンであるかチェックする
- 「制御」利用できるUSBメモリ・アクセス先を制御する
- 「シングルサインオン」アプリケーションに自動ログオンする
- 「ログ」一連の操作を記録する
- 数万台規模の大企業への導入も想定した設計

PERSON

「人」を中心にしたセキュリティ管理

ユーザー認証 ＋ PC操作制御 ＋ シングルサインオン

全ては認証から始まる。USBメモリの利用もユーザー単位で管理！

PCの不正利用を排除する「ユーザー認証」、USBメモリの利用制限やプリンタ利用の禁止など利用者の業務に不必要な操作を制御する「PC操作制御」、業務効率を高め、システム管理者の負荷を軽減する「シングルサインオン」により、セキュリティポリシーの徹底と利便性の向上を両立します。部署や役職などの単位で権限を設定でき、「誰が、どこで、何ができるのか」を柔軟に設定することが可能です。

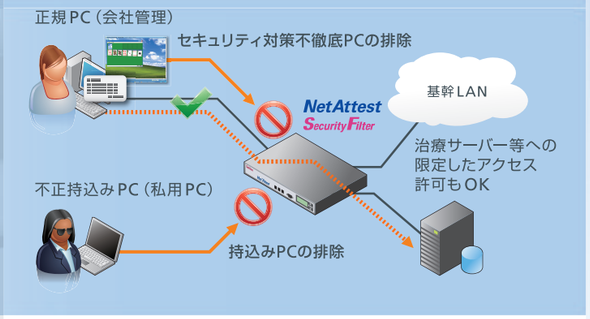
InfoTrace PLUSは、「誰が、どこで、何ができるのか」を柔軟にコントロールし、
「人×PC」を中心にしたセキュリティ管理を実現します。

「PC」を中心にしたセキュリティ管理

証明書認証 ＋ 検疫ネットワーク ＋ ネットワークアクセス制御

セキュアなPCしか繋がせない。持込み・偽装MAC対策もこれで万全！

管理外PCのネットワーク利用を制限する「証明書認証」（持込みPC対策）、セキュリティ対策が不徹底な端末（最新パッチが適用されていない、など）を隔離する「検疫ネットワーク」により、“正規のPC”のみをネットワークに参加させることが可能です。また、ユーザー認証と連携することにより、利用者の業務に不必要なネットワーク資源へのアクセスを制限する「ネットワークアクセス制御」を容易に実現します。

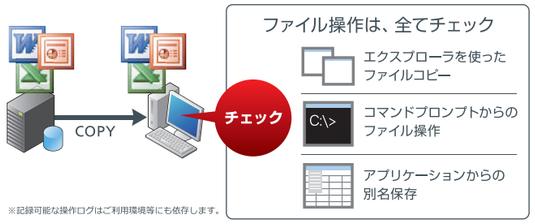


COMPUTER

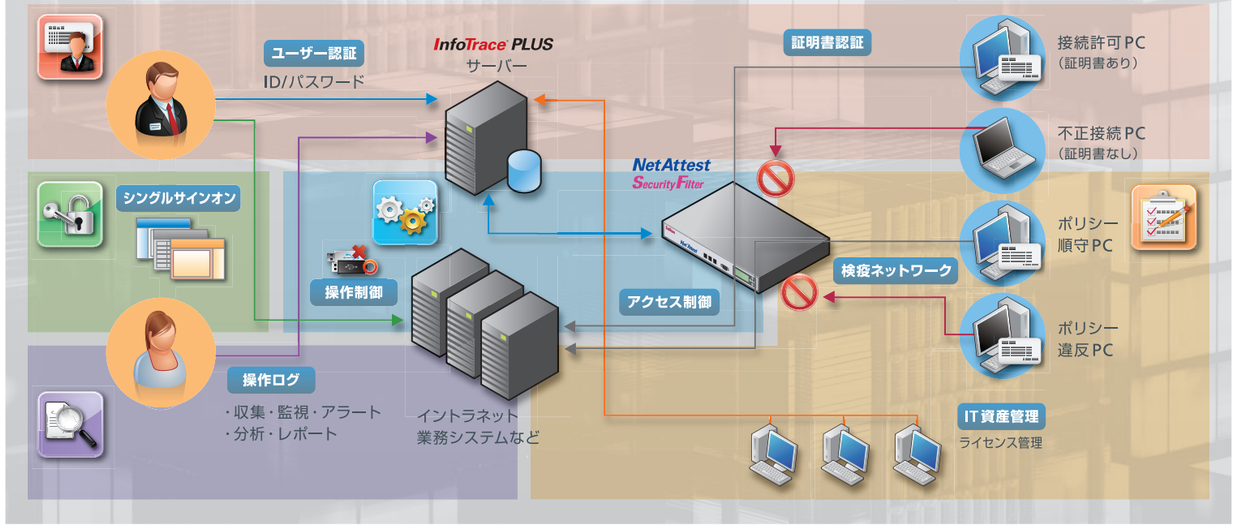
信頼性の高いPC操作ログを取りこぼしなく確実に収集

PC操作ログ

情報漏洩行為の抑止効果が期待でき、日々のログ運用はレポートでチェックできます。カーネルレベルでの検出を行うため、「誰が」「いつ」「何をしたのか」を正確に把握できます。
また、e-mail送信ログ・Notesログ機能により、添付ファイルのあるe-mail・Notesメール送信状況を確認することができます。



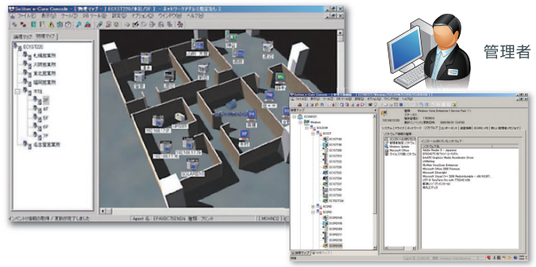
※記録可能な操作ログはご利用環境等にも依存します。



IT資産のライフサイクル管理

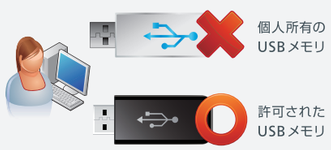
IT資産管理

IT資産情報を幅広く収集し、ライセンス状況やPCスペックなどを把握することが可能です。その情報を活用して、条件に合致するPCにのみパッチやアプリケーションを自動配信するといった運用も可能です。また、情報漏洩事故の原因になり得るP2Pソフトウェア（例：Winny）などの起動を監視し、自動削除することも可能です。



指定USBメモリの利用制限

「会社で許可されたUSBはOK、私物のUSBはNG」という運用が可能です。利用したいUSBは、事前に管理者へ申請することも可能です。



アプリケーションへの自動ログオン

「利用者は複雑なパスワードを覚える必要がない、管理者は利用者にパスワードを教える必要もない」という運用が可能です。

簡単便利な検索機能

USBメモリなどに持ち出されたファイルの出所（元のファイル名や保存先）を追跡するバックトレースや前後5分間のログを表示する前後検索などで操作ログを簡単に検索・分析することが可能です。

会議室を安全なホットスポットに

顧客や取引企業は、「会議室であれば、認証せずにインターネットの利用はOK」という運用が可能です。

サーバー・ネットワークの監視

サーバー上での操作ログや共有フォルダへのアクセスログを取得できます。また、サーバー監視（プロセス・ドライブ・パフォーマンス監視など）やネットワーク監視（SNMPノード監視）を行うことが可能 です。